

新造船「さんふらわあさつま」が就航 大阪－志布志航路 5月15日営業開始

株式会社フェリーさんふらわあ(代表取締役社長:井垣 篤司)は新造船「さんふらわあさつま」の営業航海を開始しました。

「さんふらわあさつま」は、独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構との共有船として4月27日に竣工し、その後習熟航海を重ねてまいりました。同船は大阪－志布志航路に投入され、初航海として昨日17時55分に大阪港を出帆し、本日、志布志港に入港いたしました。

姉妹船(第2船)である「さんふらわあきりしま」の建造も順調に進んでおり、本年8月の竣工予定です。フェリーさんふらわあは「さつま」と「きりしま」の新造船2隻の投入により関西－九州間の物流を担う大動脈としての役割を強化いたします。また旅客サービスにおきましては、船内設備の充実やエンターテイメントにおける様々な試みをご用意し、気軽に非日常空間をお楽しみ頂ける新しい船旅「初めての経験 わくわくドキドキさんふらわあのカジュアルクルーズ」を創造してまいります。



大阪港出帆



志布志港セレモニー



新造船「さんふらわあさつま」が就航 大阪－志布志航路 5月15日営業開始

概 要

| | |
|-----------|-------------|
| 就航日 | 2018年5月15日 |
| 総トン数 | 13,659トン |
| 全長 | 192m |
| 全幅 | 27m |
| 航海速力 | 23ノット |
| 旅客定員 | 709名（定員） |
| 積載 車輛数 | 大型トラック 121台 |
| | 乗用車 134台 |



「さんふらわあさつま」船体画像

<特徴>

1. 二重反転プロペラ(CRP = Contra Rotating Propeller)採用により環境に優しいフェリーを実現
2. モーダルシフト(*)の受け皿として輸送能力を増強。
3. カジュアルクルーズを意識した充実した船内設備。
 - ・3層吹き抜け構造のエントランスを活用した本邦初となるプロジェクションマッピング（船内映写）の導入。
 - ・客室の8割以上を個室化。全個室へのシャワー、トイレの設置。スイートルーム12室導入。
 - ・共用スペース、レストラン、大浴場の拡張

* トラックと海上輸送を組み合わせた地球に優しい輸送形態です。

「さんふらわあさつま」に関する詳細は、フェリーさんふらわあホームページ上の新造船紹介 (<http://www.ferry-sunflower.co.jp/lp/newship/devview/index.html>) をご覧ください。

本件に関するお問い合わせは以下までお願いいたします。
株式会社フェリーさんふらわあ 人事総務部 田中・川田
TEL : 078-857-9521 FAX : 078-857-8416

